

|    |      |      |          |           |            |             |             |              |        |          |          |            |
|----|------|------|----------|-----------|------------|-------------|-------------|--------------|--------|----------|----------|------------|
| 目次 | 編集方針 | 会社概要 | トップメッセージ | 方針・マネジメント | カーボンニュートラル | サーキュラーエコノミー | ウォーターニュートラル | <b>生物多様性</b> | 化学物質管理 | サプライチェーン | エンゲージメント | データ集・第三者検証 |
|----|------|------|----------|-----------|------------|-------------|-------------|--------------|--------|----------|----------|------------|

# 生物多様性

## 大塚グループ生物多様性指針

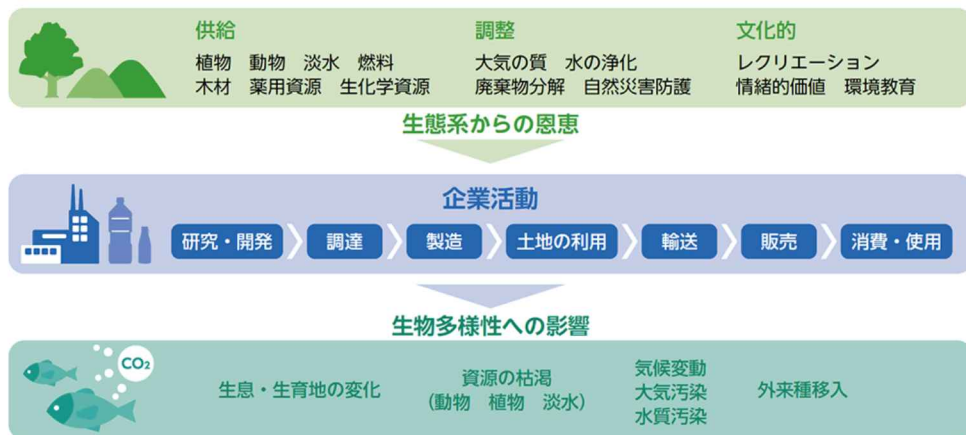
### 基本的な考え方

大塚グループは、地球に住む大自然の一員として、命のすばらしさに感謝し、自然がもたらす恩恵を未来につなぎ、世界に広がっていきます。

### 活動指針

- 1 事業活動と生物多様性の関わりについて、理解を深めます。
- 2 生物多様性に影響を与える、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めます。
- 3 国際的な取り決めに応じた、生態系サービスを含む資源の持続可能な利用、遺伝資源の公正かつ衡平な配分に努めます。
- 4 国内外におけるステークホルダーとコミュニケーションを図りつつ、連携・協力して、生物多様性保全に取り組みます。
- 5 生物多様性に関する社会の意識醸成に貢献します。

## 生物多様性と事業活動の関わり



## 地域の生態系に配慮した事業活動

### 自然保護への取り組み

大塚グループは、法令に基づいた動植物の保全の他、地域に根ざした自然の保護などに取り組んでいます。生産拠点を有する国内外の事業会社に毎年環境アンケートを実施し、法律など（IUCN保護地域管理カテゴリー、ラムサール条約、国内法令）で定められた保護すべき動植物は生息についての法令遵守状況や保護活動の実施有無をモニタリングしています。今後も工場周辺地域における生態系リスクの把握および対策に努めていきます。

### ビオトープ\*1の設置

大塚グループでは、大塚製薬 徳島板野工場と岡山大鵬薬品の工場にビオトープを造成、工場から排水される冷却水などを再利用し、自然を再現した水路に排水しています。水辺には四季折々の草花や昆虫、野鳥が飛来し、自然との共生を実現しています。

\*1 工場の設立等によって失われた生態系を復元し、本来その地域に住む生物が生息できるようにした空間のこと

### 大塚製薬 徳島板野工場に飛来する野鳥や動物



トノサマガエル  
(絶滅危惧IB類)



タガメ  
(絶滅危惧IA類)



カワバタモロコ  
(絶滅危惧IA類)  
(徳島県版レッドリストより)



ヘイケボタル



カワセミ

